

戦 評

大会名 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 岩手県予選会

女子決勝

会場名：盛岡大学体育館

主審：塩井和幸

副審：新沼美穂

試合結果

岩手 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-13 \\ 25-15 \\ - \end{array} \right\}$ 0 盛岡市立高等学校

戦 評 試合時間 0時間 36分

第1セット、岩手は6番多田、8番水本のサービスエースなどで序盤から主導権を握り

9番山口らのスパイクで着実に得点を重ね、このセットを先取する。

第2セット、流れを引き寄せたい盛岡市立は2番村田(香)、途中出場の4番林の

スパイクで応戦する。対する岩手は中盤から高さのある5番佐藤にボールを集め粘る

盛岡市立を徐々に突き放し、最後は10番阿部のサーブが決まり岩手が東北ブロック

ラウンドの出場権を手にした。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者：及川晃弘

岩手県バレーボール協会